

アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト 国際ワークショップ

アジア出土遺物 デジタルアーカイブの 可能性

Session1

中国の鄴城出土仏教遺物と
近年のデジタルアーカイブ研究

朱岩石 (中国社会科学院考古研究所漢唐研究室 主任)

劉建国 (中国社会科学院考古研究所古科技実験研究中心 副主任)

何利群 (中国社会科学院考古研究所漢唐研究室 副研究員)

Session2

ARCにおける
デジタルアーカイブ研究

赤間 亮 (立命館大学文学部 教授)

金子貴昭 (立命館大学衣笠総合研究機構 准教授)

Session3

モンゴルのオラン・ヘレム壁画墓と
中国鄴城地域の半跏思惟像

山口欧志 (立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員)

西林孝浩 (立命館大学文学部 准教授)



東魏・武定二年(544) 路太子思惟像(2012年鄴城道北段出土)
※画像は加工しております

日時

2016年2月14日(日)

10:30-17:00

会場

立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト国際ワークショップ アジア出土遺物 デジタルアーカイブの可能性

日時

2016年2月14日(日)
10:30-17:00

会場

立命館大学
アート・リサーチセンター
多目的ルーム

問い合わせ

立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内
アート・リサーチセンター 立命館大学 私立
大学戦略的研究基盤形成支援事業（日本文化
資源のグローバルアクション）事務局
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
TEL:075-465-8476 (9:00～17:30)
e-mail: arc-jimu@arc.ritsume.ac.jp
URL <http://www.arc.ritsume.ac.jp>



アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト(2015年度日本文化デジタルヒューマニティーズ研究拠点形成支援プログラム)では、立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)で培われてきた日本文化デジタルアーカイブの手法や技術を、アジア圏の様々な文化・芸術研究に応用することで、新たな地平を拓くことを目的の1つとしています。

今回、その一環として、中国社会科学院考古研究所から3名の先生方をお招きし、近年、発掘された河北省鄴城遺跡のうち、東魏・北斉時代(534～577年)の仏教遺跡およびその出土遺物に関わる最新の知見と、それに関連するアーカイブ技術についてご報告をいただき、合わせて、当該プロジェクトメンバーからも、これまでの研究成果を報告する国際ワークショップを開催させていただくことになりました。みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

TIMETABLE

※Session1の発表は中国語(日本語による通訳あり)

10:30-	開会挨拶
10:35-12:35	Session1 中国の鄴城出土仏教遺物と近年のデジタルアーカイブ研究 趣旨説明 朱岩石 (中国社会科学院考古研究所漢唐研究室 主任) 「鄴城遺跡出土の仏教遺跡と遺物」 劉建国 (中国社会科学院考古研究所考古科技実験研究中心 副主任) 「中国の考古発掘現場および出土文物の記録における多視点画像からの3次元モデル構築」 何利群 (中国社会科学院考古研究所漢唐研究室 副研究員) 「鄴城遺跡の北呉荘における仏教造像の出土・修復および展示について」
12:35-	昼食
13:40-14:50	Session2 ARCにおけるデジタルアーカイブ研究 趣旨説明 赤間 亮 (立命館大学文学部 教授) 「共同研究拠点のためのARCポータルデータベース設計—WEB上の資源を統合したマルチメディア型研究データベース—」 金子貴昭 (立命館大学衣笠総合研究機構 准教授) 「ARCの対象資料特化型データベースとそれらの連携について」
14:50-	休憩
15:10-16:20	Session3 モンゴルのオラン・ヘレム壁画墓と中国鄴城地域の半跏思惟像 趣旨説明 山口欧志 (立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員) 「文化遺産のデジタル記録とその活用」 西林孝浩 (立命館大学文学部 准教授) 「中国鄴城地域の半跏思惟像」
16:25-	質疑応答
16:50-	閉会挨拶

